

環境省 地熱開発の促進策で検討会 温泉、自然への影響論点

指標、通知など見直しへ

環境省は、脱炭素社会の実現を目標とする再生可能エネルギーの一つ、地熱の開発を促進しようとして、有識者などを構成する「地域共生型の地熱活用に向けた方策検討会」を設置し、7月19日の初会合を開いた。温泉資源の保全や国土の自然保護と両立した地熱開発の仕組みづくりが論点。初会合では、開発に関する規制の緩和、温泉・自然保護と両立した地熱開発の仕組みづくりが論点。初会合では、開発に関する規制の緩和、温泉・自然保護と両立した地熱開発の仕組みづくりが論点。

環境省自然環境整備課 方の案として、井戸と地熱関係の「」を改定する。佐藤雄輔課長は、政府の管理から地熱貯留層の管理へ移行して、8月中旬にパブリックコメント(意見募集)を行う予定。中々、今回は地熱開発の促進策として、井戸と地熱関係の「」を改定する。佐藤雄輔課長は、政府の管理から地熱貯留層の管理へ移行して、8月中旬にパブリックコメント(意見募集)を行う予定。中々、今回は地熱開発の促進策として、井戸と地熱関係の「」を改定する。佐藤雄輔課長は、政府の管理から地熱貯留層の管理へ移行して、8月中旬にパブリックコメント(意見募集)を行う予定。

焦点 インタビュー 課題



全日本ホテル連盟 会長 清水嗣能氏に聞く

今年創立50周年を迎える全日本ホテル連盟は、新たな50年に向けて名称変更と活動方針の見直しを急いでいる。会長清水嗣能氏に、名称変更の意義と今後の方向性について聞いた。

清水氏：「50年を迎えるにあたり、名称変更は必須です。現在の名称は、業界の発展と連盟の役割を十分に反映しできていません。また、近年は地熱開発や環境問題が注目されており、名称にもこれらに関するメッセージを込めたいと考えています。新しい名称には、業界の発展と連盟の役割を十分に反映し、また、近年は地熱開発や環境問題が注目されており、名称にもこれらに関するメッセージを込めたいと考えています。」

名称変更、次の50年へ

全日本ホテル連盟は、今年創立50周年を迎えるにあたり、新たな50年に向けて名称変更と活動方針の見直しを急いでいる。会長清水嗣能氏に、名称変更の意義と今後の方向性について聞いた。

清水氏：「50年を迎えるにあたり、名称変更は必須です。現在の名称は、業界の発展と連盟の役割を十分に反映しできていません。また、近年は地熱開発や環境問題が注目されており、名称にもこれらに関するメッセージを込めたいと考えています。新しい名称には、業界の発展と連盟の役割を十分に反映し、また、近年は地熱開発や環境問題が注目されており、名称にもこれらに関するメッセージを込めたいと考えています。」



私の視点 吉田 博詞

「バイクで走る」という企画がある。アップダウンの激しい高原を肌で感じるには、バイクが必要である。バイクという手段で参加ハードルを下げることができ。

また、専門ガイドが四季折々の植生の違いや、コースから眺められる名山の山並みの特徴を丁寧に解説してくれ、天然湧水をマイボトルでくんだらうで参加するということもエコ意識を醸成させる仕掛けがあることなどが高く評価されたポイントであった。

イーバイクツアーへの期待

「バイクで走る」という企画がある。アップダウンの激しい高原を肌で感じるには、バイクが必要である。バイクという手段で参加ハードルを下げることができ。

また、専門ガイドが四季折々の植生の違いや、コースから眺められる名山の山並みの特徴を丁寧に解説してくれ、天然湧水をマイボトルでくんだらうで参加するということもエコ意識を醸成させる仕掛けがあることなどが高く評価されたポイントであった。

MVV策定、存在意義を明確に

MVV(ミッション・ヴィジョン・バリュー)策定は、連盟の存在意義を明確にし、活動を推進するための重要なステップです。連盟の存在意義を明確にし、活動を推進するための重要なステップです。

連盟の存在意義を明確にし、活動を推進するための重要なステップです。連盟の存在意義を明確にし、活動を推進するための重要なステップです。

会員、地域、国に貢献できる組織へ

連盟は、会員、地域、国に貢献できる組織を目指しています。連盟は、会員、地域、国に貢献できる組織を目指しています。

連盟は、会員、地域、国に貢献できる組織を目指しています。連盟は、会員、地域、国に貢献できる組織を目指しています。

宿泊施設向け補助金で公募

観光庁は7月30日、「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始しました。観光庁は7月30日、「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始しました。

観光庁は7月30日、「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始しました。観光庁は7月30日、「宿泊施設のインバウンド対応支援事業」の公募を開始しました。

GoToは未定 感染状況を注視

赤羽国交相は、「GoToは未定。感染状況を注視する」と述べました。赤羽国交相は、「GoToは未定。感染状況を注視する」と述べました。

赤羽国交相は、「GoToは未定。感染状況を注視する」と述べました。赤羽国交相は、「GoToは未定。感染状況を注視する」と述べました。

「和」の旅館文化を世界に伝える 日本旅館国際女将会

北海道 登別温泉郷 滝乃家 須賀 紀子	山形 深山荘 高見屋 岡崎 純子	山形 展望露天の湯 有馬館 須藤 佳子	宮城 南三陸 ホテル 観洋 阿部 憲子	宮城 ホテル松島大観荘 磯田 悠子	福島 四季彩一力 小口 潔子		
福島 雨情の宿 新つた 若松 佐代子	新潟 風雅の宿 長生館 荒木 紀子	栃木 本家伴久 伴 真澄美	栃木 ホテルアオキ 青木 しのぶ	群馬 金盛館せらぎ 須藤 美由貴	群馬 如心の里 ひびき野 養田 博美	群馬 万座温泉日進館 宮田 ひとみ	
栃木 鬼怒川温泉 あさや 八木澤 美和	茨城 五浦観光ホテル 村田 和華子・村田 知世	東京 水月ホテル 鵜外荘 中村 みさ子	神奈川 箱根 吟遊 太田 清子	神奈川 箱根 パークス吉野 西島 亜由子	静岡 白壁荘 鈴木 裕香	静岡 観音温泉 鈴木 和江	
静岡 黒船ホテル 山本 未姫	石川 かよう亭 上口 和子	愛知 平野屋 平野 志保	岐阜 下呂観光ホテル しょうげつ 長坂 正恵	富山 ホテル黒部 中島 ルミ子	和歌山 富士屋 小淵 祥子	奈良 むし野 山下 育代	京都 松園荘 保津川亭 奥村 純子
兵庫 紅葉館 別庭 あざれ 松本 富士	鳥取 皆生つるや 宇田川 富美江	鹿児島 指宿 白水館 下竹 原成美	熊本県 阿蘇の司ピラパークホテル&スパリゾート 園米 由公江	熊本県 黒川温泉 ふもと旅館 松崎 久美子	台湾・台中市 陳允宝泉 翁羿琦		

お問い合わせは 観光経済新聞社内 日本旅館国際女将会事務局
TEL.03-3827-9800 FAX.03-3827-9730 e-mail: info@kankokeizai.com
外客誘致と海外ホスピタリティ研修で1995年から活動しています。